

## 長野県の特性（ポテンシャル）

（ ）内は全国順位、＜ ＞内は出典

## 1 地理的条件

・日本列島のほぼ中央に位置する長野県は、大都市圏に近接し、東日本と西日本、太平洋側と日本海側とをつなぐ地理的条件にある。

データ等

- ・主要都市までの距離 東京236km、さいたま206km、新潟218km、富山198km、名古屋270km  
岐阜280km、甲府178km、静岡245km＜長野県の道路2010＞
- ・長野県に隣接する県の数 8県（第1位）＜平成21年、国土地理院＞

## 2 広大な県土、豊かな自然環境

・全国有数の広大な県土を有し、豊かな森林や良好な水・大気環境、自然と人との関わりによって育まれた美しい景観、暮らしやすい気候に恵まれている。

データ等

- ・総面積 13,562.23km<sup>2</sup>（第4位）＜平成20年、全国市町村要覧＞
- ・林野面積 1,022,013ha（第3位）＜平成17年、農林業センサス＞
- ・自然公園面積 278,522ha（第3位）＜平成22年、環境省＞
- ・3,000m峰の数 15座（第1位）＜平成21年、国土地理院＞

## 3 技術力に支えられたものづくり産業

・かつて製糸王国として繁栄し、その後も常に産業構造の転換に取り組んだ結果、今日の長野県には超精密・超微細加工など優位性のある技術が集積している。

データ等

- ・製造業が産業の約26%と最大のウェイトを占める産業構造＜平成20年度県民経済計算＞
- ・移輸出（地域外からの収入）額の約76%を製造業が占める産業構造＜平成17年長野県産業連関表＞
- ・加工組立型産業といわれる電子部品・デバイス・電子回路、生産用機械器具、情報通信機械器具、電気機械器具、輸送用機械器具、はん用機械器具、業務用機械器具の7業種の出荷額が全体の約69%を占めている。＜平成20年工業統計調査結果報告書＞



## 6 長野県農業の特性

- ・変化に富んだ気象条件や標高差を活かして、園芸作物や米、畜産などバラエティーに富んだ農業が営まれ、豊富な農産物を全国各地に供給している。
- ・園芸作物（野菜、果樹、花き、きのこ等）に全国シェアが上位の品目が多い。
- ・急峻な地形など厳しい栽培条件を克服するために古くから整備されてきた棚田や<sup>そすい</sup>疏水（農業用水路）などが農村の美しい原風景を形成し、地域資源となっている。

### データ等

- ・耕地の標高 標高260m～1,490mに分布<農政部>
  - ・レタス 184,000 t (第1位、シェア33.5%)
  - ・セルリー 15,700 t (第1位、シェア42.8%)
  - ・はくさい 212,800 t (第2位、シェア23.0%)
  - ・アスパラガス 3,580 t (第2位、シェア11.5%)
  - ・りんご 160,000 t (第2位、シェア18.9%)
  - ・ぶどう 27,100 t (第2位、シェア13.4%)
  - ・もも 19,000 t (第3位、シェア12.6%)
  - ・カーネーション 69,000千本 (第1位、シェア18.8%)
- <レタス～カーネーション 平成21年、作物統計>
- ・えのきたけ 83,890 t (第1位、シェア60.6%)
  - ・ぶなしめじ 47,500 t (第1位、シェア42.9%)
- <えのきたけ～ぶなしめじ 平成21年、特用林産基礎資料>
- ・「棚田百選」認定数 16件 (第1位) <農政部>
  - ・「疏水百選」認定数 5件 (第1位) <農政部>
  - ・「ため池百選」認定数 5件 (第2位) <農政部>